

## 大谷南地域



ごあいさつ	36
1 まちづくりの将来像	37
2 地域のすがたと財産	38
3 地域の現況と課題	40
4 地域のまちづくりの整備目標	42
5 地域整備方針	44

※本文中の「\*」印表記の用語は、  
全体構想編に解説があります。

## ごあいさつ



塚崎周辺の平地林



血方神社稚児神楽



新4号国道



南和泉周辺の農地



塚崎周辺の集落地



素案がまとまって記念撮影

新緑の小枝に雀がさえずり、高い枝で鳩が鳴く環境の中で何十年も過ごしてきました。この当り前の日常が、村から市になって五十年経っても続いていることに感謝したいと思います。

昨年も4月に田間血方神社の稚児神楽が奉納され、華麗な稚児の舞が見られました。休日でしたが見物客はさほど多くなく、私がか子供の頃の賑わいとは違っていました。人々の楽しみも多様化し、伝統文化への興味も薄れているのかもしれない。

私達は、生活の便利さや快適さを求めて地域の発展を願ってきました。舗装された道を自動車が走り、駅や店に行くのも便利になりました。一方で、交通安全や治水対策等、都市化に伴う問題も顕在化しています。また新鮮な野菜の産地として、効率化を図るための基盤整備や、自慢の平地林\*を将来まで残すことも必要です。

まちづくりについてみんなで話し合ったことは大変有意義でした。これからも、故郷の未来づくりについて考えていきたいと今、心から感じています。

大谷南地域まちづくり検討会 座長 山中 正

副座長 倉持 芳江

石島 辰衛 石塚 永一 木村 裕 関 暢  
永嶋 朋子 中村 良助 山田 悦男 山中 正一  
山中 英明 山中 宏子 山中 芳子

\*敬称略：五十音順

### 【地域別構想検討の経緯】

- ・第1回 全体会議 [平成15年 2月 2日：中央市民会館]
- ・第2回 地域別会議 [平成15年 3月16日：大谷公民館]
- ・第3回 地域別会議 [平成15年 6月18日：大谷公民館]
- ・第4回 地域別会議 [平成15年 9月10日：大谷公民館]
- ・第5回 代表者会議 [平成15年12月 6日：小山市役所会議室]
- ・第6回 地域別会議 [平成15年12月17日：大谷公民館]
- ・第7回 地域別会議 [平成16年 4月21日：大谷公民館]
- ・第8回 全体会議 [平成16年 7月 4日：県南体育館]

# 1 まちづくりの将来像

地域別検討会の大切な成果のひとつとして、みんなで考え、つくったまちづくりのテーマとキャッチフレーズです。

## ■ キャッチフレーズ

広い大地に野鳥さえずり 緑を愛でて稚児が舞う  
まごころ野菜に元気あふれる  
ビタミンたっぷり 大谷南地域

### ● 広い大地／野鳥がさえずる

： 広大な農地と野鳥が生息する豊かな自然環境をあらわしています。

### ● 緑を愛でる／稚児が舞う

： 平地林\* 等の緑を愛し、育む気持ちと、地域に脈々と受け継がれてきた歴史的資産・コミュニティ\* を血方神社の稚児神楽に代表させています。

### ● まごころ野菜に元気あふれる

： 地域の自慢である野菜の栽培のように、都市の活力を支える恵み豊かな農業生産のまちをあらわしています。

### ● ビタミンたっぷり

： 都市に近接した便利な田園集落として必要な栄養（機能）が備わった、生活しやすく魅力的な地域の将来イメージをあらわしています。

## ■ まちづくりのテーマ

青空に野鳥さえずる平地林\* の緑 豊かな恵みを育む農地  
地域内にはたくさんの小川が流れる  
身近な緑と水に囲まれた 安らぎあふれる快適な田園生活

恵まれた自然と農業・住まいの場が調和した  
ビタミンたっぷり 都市を支える緑のまち  
神楽の歴史文化を伝え まちを支えるコミュニティ\* が  
元気で優しい心を生み出しながら  
首都とつながる新4号国道を活かして  
未来に発信していく 大谷南地域のまちづくり



大川（用水路）



血方神社



田間周辺の田園風景



地域内の生活道路



東野田周辺の農地



塚崎周辺の田園風景

## 2 地域のすがたと財産

### ■ 地域の主な財産など

※各写真の番号は右図の番号に対応しています

#### □ 地域の公共施設など

(※印はおやま百景)

##### 【行政機関】

・大谷公民館（小山中央地域）

##### 【学校教育施設】

・大谷中学校（小山中央地域）

・大谷南小学校

##### 【歴史的資産など】

・御霊神社

・観音堂

・住居遺跡

・神明宮

・血方神社（稚児神楽）※

・野田神社

・氷川神社

##### 【その他】

・小山東野田郵便局

・JA 大谷南支店

・高松の沼

・武井貯水池



#### 1.大谷公民館（小山中央）

大谷地区全体のコミュニティ活動の中心拠点施設。



#### 2.新4号国道

南北方向の広域連絡機能を担う主要幹線道路。



#### 3.大谷南小学校

明治7年創立／生徒数173人（H14.5.1現在）



#### 4.血方神社

少彦名命を祭神とする、古い歴史を持つ神社。



#### 5.血方神社稚児神楽※

血方神社で行われる可憐で華やかな少女の舞い。



#### 6.南部平地林

地域全体に残る貴重な屋敷林などの樹林地。



#### 7.氷川神社

塚崎公民館の西側に位置する地域の神社。



#### 8.野田神社

大谷南小学校の南に位置する地域の神社。



#### 9.武井貯水池

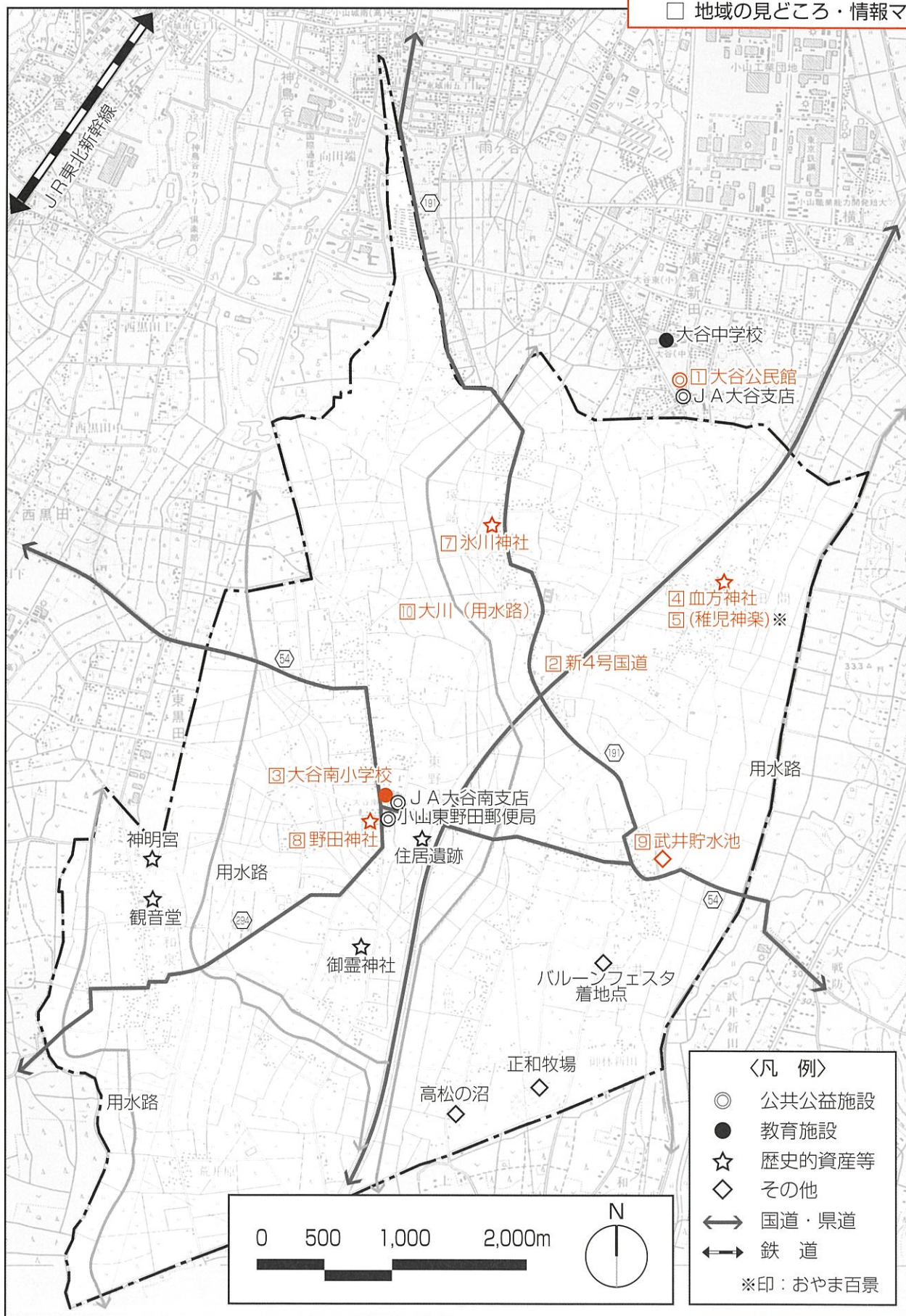
地域の東、大字武井に位置する貯水池。



#### 10.大川（用水路）

地域のほぼ中央を南北方向に流れる大切な用水路。

□ 地域の見どころ・情報マップ



### 3 地域の現況と課題

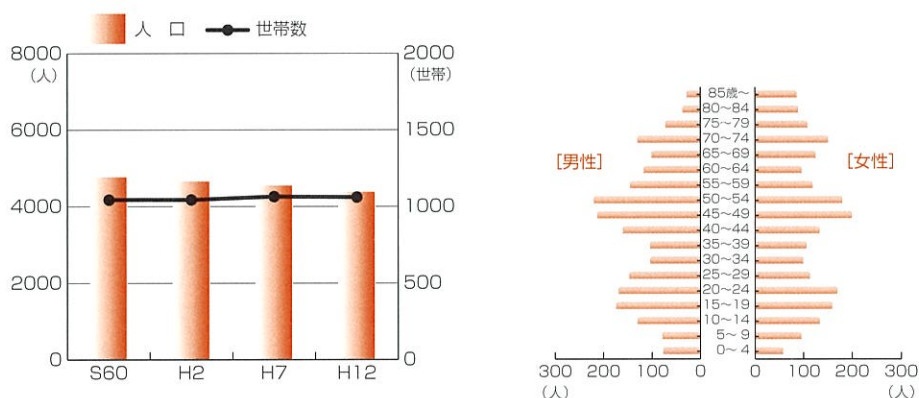
#### 1) 地域の概況

本市の南東部に位置し、約4,000人が居住しています。人口・世帯数はともにほぼ横ばいで、人口を5歳階級別にみると、男女とも20歳代及び50歳代が多く、10歳代や30歳代が比較的少なくなっています。

地域内は畑地を中心とした自然的土地利用が図られ、そこに集落地が点在しています。周囲には平地林\*等の樹林地が広がり、稚児神楽で有名な血方神社を有しています。

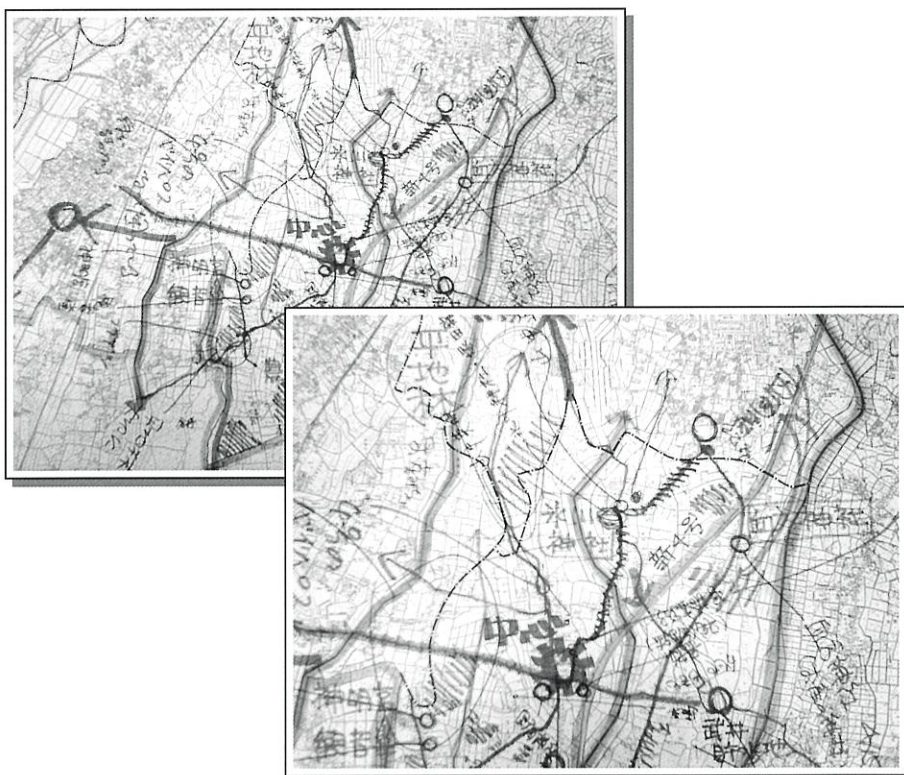
また地域内を主要幹線道路である新4号国道が南北に通っており、首都圏から東北地方への便利なアクセス条件となっています。

#### □ 人口の推移・5歳階級別人口



#### □ ワークショップ結果 (情報地図)

【情報地図の作成】 → p10



## 2) 現況と課題

### ■ 土地利用

- ・ 地域内には広大な農地と田園集落地、用水路や平地林\* が広がっています。

### ■ 道路・交通

- ・ 周辺市町への広域的な幹線道路となる新4号国道への連絡性がよいため、地域内の道路は大型車両の通行が多く、歩行者にとっては危険と感じることがあります。
- ・ 都市計画道路\* や外環状線など、市全体や地域の骨格となる道路網の形成が必要です。
- ・ 地域内を通る公共交通機関（バス路線）がなく、移動利便性の向上が課題となっています。

### ■ 公園・緑地

- ・ 身近な公園等が少なく、神社境内の有効活用などによる子供の遊び場・憩いの場の確保が望まれています。
- ・ 平地林\* が多く残っており、大切に保全・活用していくことが望まれています。

### ■ 自然・景観

- ・ 地域内を流れる用水路などの財産を活かしながら、自然環境と調和した美しい田園景観の保全・形成に努めていくことが大切です。

### ■ 公共公益施設・供給処理施設・その他

- ・ 血方神社をはじめとする社寺や遺跡等の歴史的資産が多く残っており、その保全・活用が望まれています。
- ・ 市街地から流入する雨水排水の処理方法等が課題となっています。
- ・ 平地林\* への不法投棄など、地域の環境美化や市民のモラル向上等が課題となっています。
- ・ 地域内の農地はバルーンフェスタ時における気球の着地点として活用されています。
- ・ 集落の人口増加が乏しく、また人口が著しく減少している集落もあるため、現在の田園環境を守りつつ、新たな居住を可能とする方策が必要です。

## 4 地域のまちづくりの整備目標



### ● 自然資源や農業環境と調和した良好な集落環境の形成

農地の保全、農業生産環境の向上に努め、一定の立地基準緩和に沿って、新たな活力や地域コミュニティ\*の創出を図るとともに、既存集落を中心とする緑住集落地として生活環境の向上・改善を促進することで、緑豊かで快適な定住型集落環境・田園景観の形成を図ります。



### ● 安全・便利な道路網・移動交通環境の形成

新4号国道による広域的連絡性をふまえながら、小山市の骨格を形成する外環状線や日常生活の軸となる安全・便利な道路網の整備、またコミュニティバスなど地域の利便性向上に資する公共交通網の形成によって、市内主要施設や鉄道駅、地域間における移動交通環境の向上を図ります。



### ● 美しい自然景観や誇れる歴史的資産の保全・活用

集落部の社寺林や平地林\*の緑、農地内に広がる水路といった自然を身近に感じる景観、また血方神社などの誇れる歴史的資産を保全するとともに、市全体の資源ネットワークの一端を担うための活用を図ります。

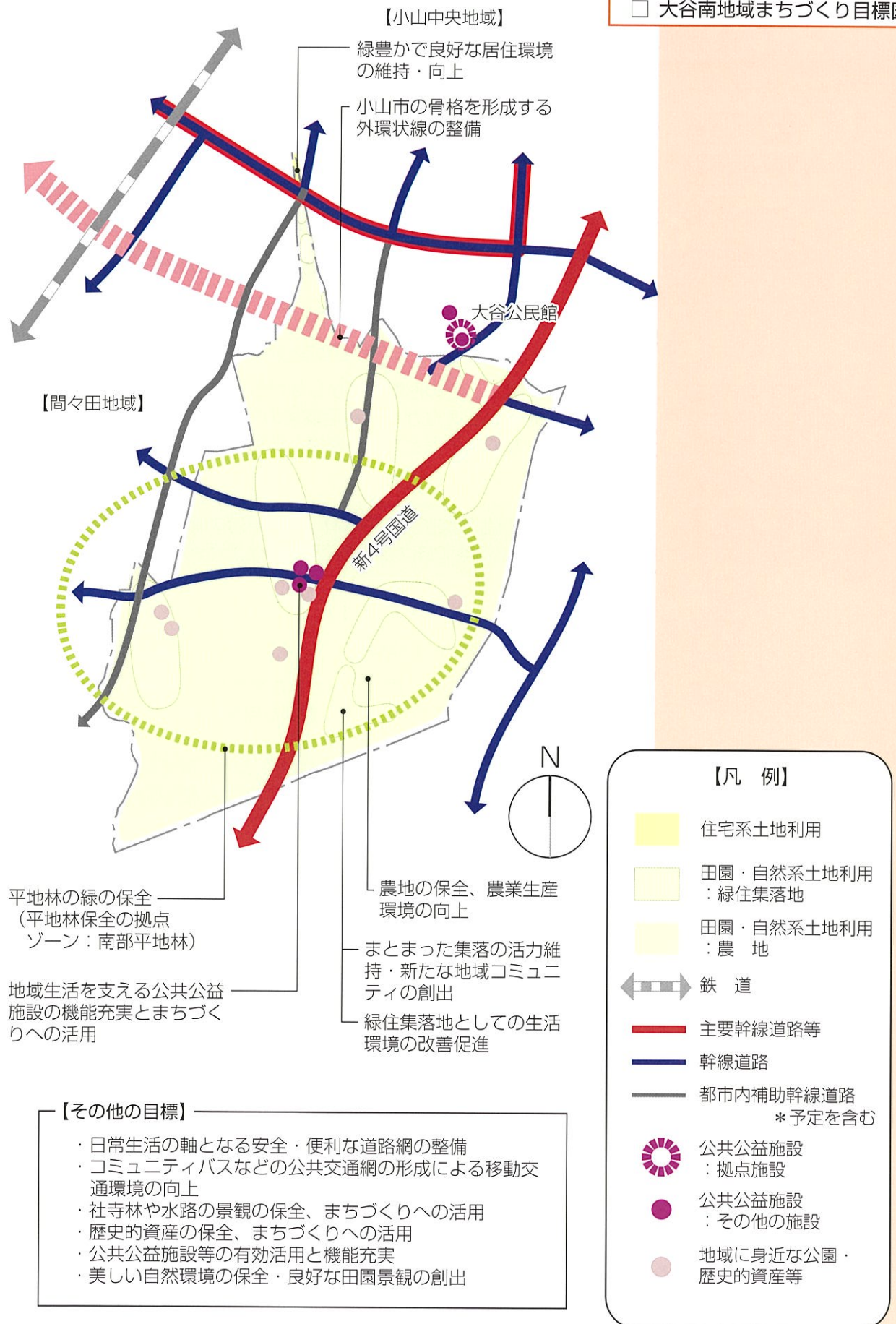


### ● 地域生活やコミュニティ活動を支える拠点施設の充実と活用

地域での生活を支え、地域コミュニティ\*活動・世代間交流の拠点となる公共施設（行政サービス施設／学校・教育文化施設等）等について、地域のまちづくりに有効に活用しながらその機能充実を図ります。



□ 大谷南地域まちづくり目標図



## 5 地域整備方針

### ■ 土地利用

□対応する主要整備方針イメージ

04・P172◀

18・P176◀

22・P177◀

23・P177◀

05・P173◀

19・P176◀

22・P177◀

23・P177◀

19・P176◀

#### ● 良好な市街地環境の形成と維持・向上

地域北端の地区計画制度\* が適用された市街化区域\* について、良好な市街地環境の形成とその維持・向上を図ります。

- 小山南通り沿道地区における、沿道サービス系の立地を許容する一般住宅地としての良好な市街地環境の形成・維持
- 原之内地区の良好で落ち着いた低層専用住宅地の形成・維持 等

#### ● 豊かな田園生活環境の充実や優良農地の保全

既存集落は、その形態を活かしながら、また一定の立地基準に基づく区域指定をふまえながら、生活環境の向上・改善を促進するとともに、恵み豊かな農地の保全や自然環境と調和した美しい田園景観の形成を図ります。

- 優良農地と集落部の屋敷林・社寺林等の保全・育成
- 既存集落地における便利で美しい生活環境の向上・改善 等

#### ● 自然環境に配慮した土地利用

地域内に比較的まとまって残された平地林\* について、保全を図る拠点ゾーンとして位置づけるなど、豊かな自然環境の維持・保全を図ります。

- 豊かな平地林\* の保全・育成（平地林\* 保全の拠点ゾーン）
- 用水路や貯水池などの水辺空間における貴重な自然の保全 等

## ■ 道路・交通

### ● 小山市全体や地域の骨格を形成する道路網の整備・充実

広域的なつながりや周辺地域との関係を念頭に置きながら、地域内の安全かつ円滑な交通処理、交通サービスの向上を図るため、地域の骨格となる道路について、それぞれの機能や役割を分担する段階的・計画的な道路網の整備を進めます。

- 新4号国道の適切な維持
  - 幹線道路・補助幹線道路における、歩行者等の安全性確保に配慮した整備
  - 生活に身近な道路の整備検討
- 等

▶ 06・P173

▶ 07・P173

▶ 09・P174

### ● 公共交通網の整備等による便利な交通ネットワーク\* の形成

誰もが快適かつ便利に移動できるよう、コミュニティバス\* などの公共交通機関の整備拡充に努めます。

- 小山駅周辺や主要な公共施設、周辺地域などを連絡するコミュニティバス\*・乗合タクシー等の整備検討
- 等

▶ 12・P174

## ■ 公園・緑地

### ● 自然環境の保全によるふれあい空間の創出

必要に応じて、地域住民との協調による宅地内緑化の誘導を図るとともに、集落周辺の神社や社寺林を子供の遊び場として活用するなど、自然と身近にふれあえる空間の創出を図ります。

- 社寺林等の緑地空間の保全・育成
  - 神社付帯遊園の活用
  - 用水路や貯水池等の水辺空間の保全・活用
  - 一定規模の集落等における、地区計画制度\* 等を活用した生垣・宅地内緑化の誘導検討
- 等

▶ 19・P176

▶ 20・P176

### ● 歴史的資産の保全とネットワーク\* の形成

歴史や文化、地域コミュニティ\* を形成する、誇れる歴史的資産を保全するとともに、小山の個性をあらわす拠点として整備・活用を図っていきます。また、これらの財産を連絡するネットワーク\* 形成を図ります。

- 血方神社や住居遺跡など、身近な歴史的資産の保全とまちづくりへの活用
  - 周辺地域等とあわせた、自然資源や歴史的資産等を連絡するネットワーク\* の形成
- 等

▶ 17・P176

## ■ 都市景観

18・P176◀

### ● 地域住民と協調した良好な景観形成と維持

地区計画制度\* を定めた地区等において、地域住民と協調しながら、ゆとりがあり、緑豊かで快適なまちなみ景観の創出・維持に努めます。

- 原之内地区地区計画による、良好で緑豊かな景観の創出・維持 等

17・P176◀

### ● 豊かな田園と調和した美しい集落景観の創出

既存集落においては、周辺の農地や自然景観と調和した美しい景観を保全・育成していきます。

- 美しい田園景観の創出とその保全・育成
- 氷川神社や野田神社、御霊神社など、身近な社寺林の緑の自然景観の保全・育成
- 優れた家並みや屋敷林の保全等による、美しい集落景観の形成 等

19・P176◀

### ● 緑地等と一体となった自然景観の創出や幹線道路における景観軸の形成

まとまった平地林\* の緑や用水路の水辺の景観等、水と緑のうろいある自然景観の保全・育成に努めます。また主要幹線道路について、小山市の玄関口となる結節点の魅力化を図ります。

- 平地林\* の緑の保全・育成
- 農地等とあわせた用水路の水辺景観の保全
- 新4号国道における、まちの境界部分の魅力化検討 等

20・P176◀

## ■ 都市防災

### ● 雨水処理機能の向上や安全な防災施設の確保等

雨水排水等に関する整備推進により、雨水処理機能の向上を図ります。また安全な避難施設の整備と防災体制の改善・整備を図ります。

【個別方針は全体構想編参照】

## ■ 河川・供給処理

### ● 治水や清潔で安全な生活を支える供給処理施設の整備・充実

農地整備等とあわせて大川等の治水対策を検討するとともに、市民が水に親しめる貴重な自然として保全・活用します。また、農業集落排水等の整備推進とごみの減量化・リサイクル化など、環境汚染防止と自然環境の保全に努めます。

【個別方針は全体構想編参照】

▶ 20・P176

## ■ 公共公益施設

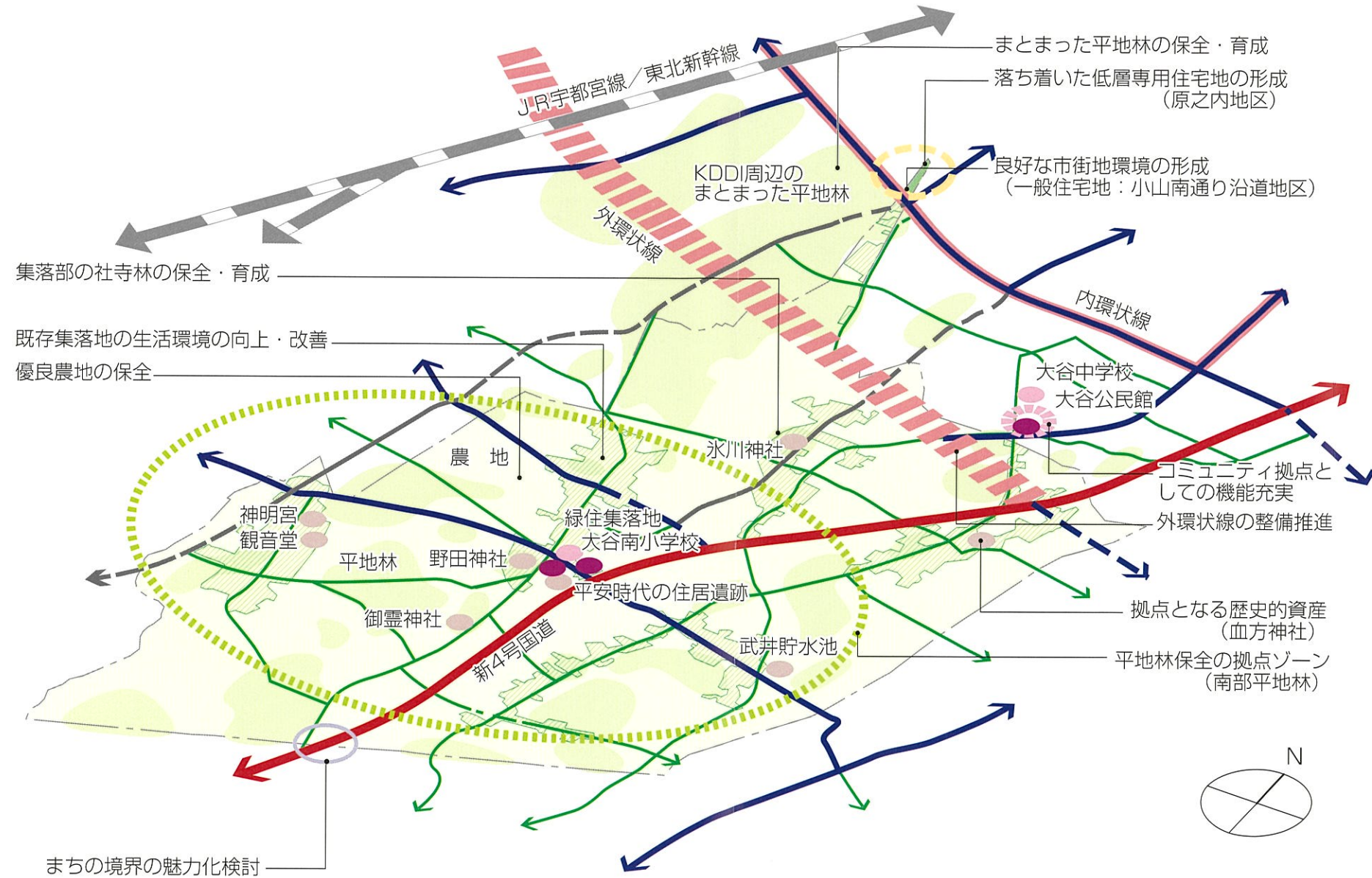
### ● 地域コミュニティ\* の拠点となる公共公益施設等の適正配置、 機能充実及び維持管理等

市民生活を支える行政サービスの提供に加え、地域に身近でコミュニティ\* 活動の拠点となる公共公益施設について、小山市全体のバランスを考慮しながら、また既存施設を有効に活用しながら適正配置を図るとともに、その機能充実と地域と協調した適切な維持管理に努めます。

- 大谷公民館のコミュニティ拠点としての機能充実
  - 学校教育・地域活動関連施設等の整備・機能充実
  - 公共施設等の総合的利便性を向上するネットワーク機能強化
  - 公共施設等のバリアフリー化推進
- 等

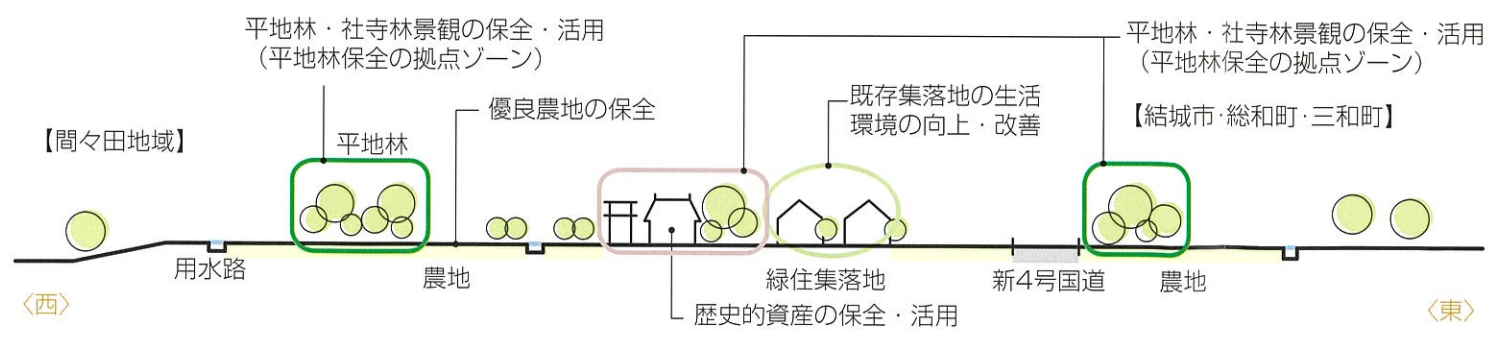


□ 大谷南地域まちづくり整備方針図



- 専用住宅地（低層）
- 一般住宅地
- 緑住集落地
- 農地
- 鉄道交通
- 主要幹線道路等
- 幹線道路
- 都市内補助幹線道路
- \* 破線は新規計画
- 地区内補助幹線道路
- 緑地（平地林等）
- 平地林保全の拠点ゾーン
- 地区計画制度適用区域
- 公民館・出張所等
- 学校教育施設
- その他の公共公益施設
- 地域に身近な  
広場・歴史的資産等

□ 地域の主な断面構成と方針



- その他の方針
- ・ 優良農地と豊かな平地林・社寺林等の保全・育成
  - ・ 美しい集落・田園景観の創出
  - ・ 幹線道路・補助幹線道路の整備（歩行者の安全性確保への配慮）
  - ・ 便利なコミュニティバス等の整備
  - ・ 自転車利用環境の整備検討
  - ・ 神社付帯遊園の活用
  - ・ 身近な歴史的資産の保全とまちづくりへの活用
  - ・ 身近にふれあえる貴重な自然の保全・育成
  - ・ 適切で良好なまちなみ景観の誘導・維持
  - ・ 市民と協調した集落地の緑化誘導の検討
  - ・ 学校教育・地域活動関連施設等の整備・機能充実
  - ・ 公共施設等のバリアフリー化とネットワーク機能強化

